

船舶事故等調査報告書

平成27年2月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故等番号 | 2013函第62号 |
| 事故等種類 | 運航不能（機関故障） |
| 発生日時 | 平成25年9月27日 04時00分ごろ |
| 発生場所 | 北海道根室市納沙布岬東南東方沖 納沙布岬灯台から真方位109.5° 77海里（M）付近 （概位 北緯42° 57.0′ 東経147° 28.0′） |
| 事故等調査の経過 | 平成25年12月17日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 漁船 第八十八 ^{まんせい} 萬盛丸、19トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | HK2-23171（漁船登録番号）、有限会社田中漁業部 |
| 乗組員等に関する情報 | 機関長、五級海技士（機関） |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | なし |
| 事故等の経過 | 本船は、船長及び機関長ほか5人が乗り組み、操業を終え、根室市花咲港へ向けて納沙布岬東南東方77M付近を航行中、平成25年9月27日04時00分ごろ、主機から異音が発生したので、機関長が主機を停止した。 本船は、主機の運転を断念して無線で僚船に連絡し、来援した僚船にえい航されて花咲港へ戻った。 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 北、風力 4、視界 良好 海象：波高 約2m |
| その他の事項 | 主機の連続最大回転数は、毎分2,000であり、本船は、ふだんから連続最大回転数で航行していた。 主機は、入港後の機関整備業者による点検により、シリンダヘッド冷却部に亀裂が生じており、冷却水が燃焼室に流れ込み、異常燃焼を起こしてタペットローラ及びプッシュロッドが曲損していたことが確認された。 機関長は、平成25年8月1日から本船に乗船していたが、前機関長との引継ぎは行われていなかった。 |
| 分析 | |
| 乗組員等の関与 | あり |
| 船体・機関等の関与 | あり |
| 気象・海象等の関与 | なし |
| 判明した事項の解析 | 本船は、納沙布岬東南東方沖を航行中、主機が、ふだんから負荷の高い状態で運転が続けられていたことから、シリンダヘッド冷却部に |

| | |
|-----------|--|
| | <p>亀裂が生じ、冷却水が燃焼室に流れ込んで異常燃焼を起こしてタペットローラ及びプッシュロッドが曲損し、主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。</p> |
| 原因 | <p>本インシデントは、夜間、本船が、納沙布岬東南東方沖を航行中、主機が、ふだんから負荷の高い状態で運転が続けられていたため、シリンダヘッド冷却部に亀裂が生じ、冷却水が燃焼室に流れ込んで異常燃焼を起こしてタペットローラ及びプッシュロッドが曲損し、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p> |